



# 末吉小だより

横浜市立末吉小学校  
学校だより

令和5年 10月号

～ 150th Anniversary ～

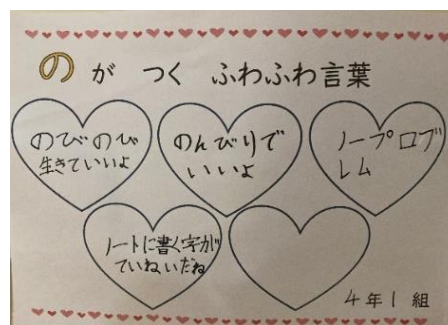
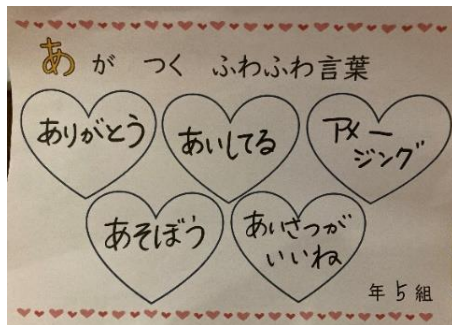
## ふわふわ言葉の力

副校長 藤野 俊子

授業参観懇談会の際に、昇降口に掲示されている「ふわふわ言葉」をご覧になった方も多と思います。これは学校保健委員会が「自分の心も 相手の心も 大切に」をテーマに、創立150周年にちなんで150個のふわふわ言葉を考えようという取組でした。ふわふわ言葉とは、「ありがとう」「いいね」など相手をふわふわ幸せにしてくれる言葉のことです。五十音でクラスごとに考えてくれたので、「ね」を担当したクラスでは、「ねえねえ、だいじょうぶ?」「ねえねえ、きみすごいね」「ねえねえ、けがしてない?」など「ねえねえ」と優しい呼びかけが溢れる様子が目に浮かびます。「み」を担当したクラスでは、「みんなで遊ぼう」「みんなありがとう」「みんな一緒」など、みんなを大切にしている言葉が並んでいました。ふわふわ言葉の反対に、ちくちく言葉があります。これは相手を嫌な気持ちにさせたり傷つけたりする言葉です。日々の中で、耳にする言葉は時として不快なものもあります。嫌な気持ちにさせるつもりはなくても、厳しく伝えなければいけない時、相手の望む結果を伝えられない時、意見が合わない時など、相手を悲しい気持ちにさせているかもしれません。伝える側も心苦しいと感じているでしょう。そんな時は、ふわふわ言葉を使って声をかけてみたいものです。元気のない人には「む」、「無理しないでね」「無茶しなくていいよ」「むずかしかったね」。がんばっているのになまくいていない人には「ひ」、「ひっしてやってえらいね」「ひとだすけしてえらいね」「ひとのはなしをきいてえらいね」。

ふわふわ言葉のすごいところは、文字を見ているだけでも心が癒されることです。今回集めたふわふわ言葉は、予定していた150個を超えて196個集まりました。私は、そのリストを机の中に入れていつも見えています。クスッと笑ってしまう言葉やこんなふうに言われたらうれしいなという言葉が詰まっていて、末吉小学校ってステキだなあと思わずにはられません。

これから、末吉カップ、150周年記念式典と大きな行事が続きます。前期のあゆみももうすぐです。うれしい、楽しい、心配、悔しい、悲しいなど様々な感情が伴うことでしょう。そんな時、クラスの仲間や友だち、そしてふわふわ言葉がみなさんにそっと寄り添ってくれますように。



### 【4年生児童の感想より】

ぼくは、この196個のふわふわ言葉で一つえらんだのは「平和」です。みんなが平和でいられますようにとえらびました。

これからも学校で学んだり、やすみじかんをみんなで楽しんだり、いろいろなものを見ていきたいです。